

科目分類	看護専門科目 基礎看護			開講時期	1年 前期	
授業科目	看護学概論					
選択/必修	必修	単位数 (時間数)	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	道重 文子、伊部 亜希					
メールアドレス	f-michishige@tsuruga-nu.ac.jp(道重) a-ibe@tsuruga-nu.ac.jp(伊部)			オフィスアワー	随時(事前にメール で連絡すること)	

授業目的	看護実践における基本的概念である「人間」「看護」「健康」「環境」、看護の歴史、法律、倫理、看護理論、看護サービス、看護教育制度について学ぶことで、看護の対象である人について洞察を深め、看護および専門職としての看護師とは何かについて考える。					
授業概要	看護実践における基本的概念である「人間」「看護」「健康」「環境」および、近代看護の創始者であるナイチンゲールの看護論、看護理論、倫理、法、看護の歴史の変遷や保健・医療・福祉システム、看護教育制度について教授する。					
授業内容	第1回 看護とは 第2回 健康の概念 第3回 環境の概念 第4回 人間の理解 第5回 人と環境 第6回 看護理論 第7回 看護理論の実践 への活用			第8回 看護理論グループワーク・発表 第9回 看護の歴史 第10回 看護と法律 第11回 保健医療福祉システム 第12回 看護サービス 第13回 看護の倫理 第14回 看護教育制度 第15回 国際化と看護 (ゲストスピーカー)		
	第9回～10回、第12回～13回：道重 文子 第1回～8回、第11回、第14回・15回：伊部 亜希					
教科書 参考書等	教科書 ：「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[1] 看護学概論」、医学書院 ：フロレンス・ナイチンゲール著 (湯槇ます他訳)「看護覚え書—看護であること、看護でないこと—」、現代社 ：ヴァージニア・ヘンダーソン著 (湯槇ます他訳)「看護の基本となるもの」、日本看護協会出版会					
成績評価 基準・方法	筆記試験 (70%)、課題・レポート (30%) により評価する					
履修要件	特になし					
留意事項 その他	本科目を修得していないと、生活の援助技術Ⅰ、生活の援助技術Ⅱは履修できません。					
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての臨床経験を活かして、看護実践の基本的な考え方、基礎的知識について講義を行う。					